

都道府県臨床(衛生)検査技師会 会長各位

社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 高田 鉄也

子宮頸がん(HPV)予防ワクチン接種全額公費助成署名活動について(依頼)

平素は、当会の事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、先に開催しました全国会長・代議員合同会議で説明させていただきましたが、標記の署名活動について、下記のとおり活動しますのでご協力のほどよろしくお願ひします。

記

1. 活動期間 本文書到着日～9月15日(当会必着)

注：臨時国会が9月下旬に開会され、この関連法案が冒頭に上程される模様ですので、急なお願いで恐縮ですが、この期日の厳守をお願いいたします。

2. 活動趣旨

子宮頸がんは、ワクチンで予防出来る唯一のがんです。このワクチンは、子宮頸がんの約70%を予防できるとされており、11歳～14歳の女兒に接種することが最も効果的といわれています。

しかし、このワクチンは、3回の接種(初回、1か月後、6か月後)が必要で、接種に要する費用が約5万円とも言われ、高価なため一般への普及が困難な状況です。

そのため、(社)日本臨床衛生検査技師会では、臨床検査技師の職能団体として、全額公費負担による子宮頸がん予防ワクチンの接種を要望いたします。

このワクチン接種による母体の保護は少子化問題解決にも繋がり、何より国民の健康の保持増進・医療費削減にも繋がると考えられます。

この要望に賛同される皆様の署名を集め、厚生労働大臣に提出いたしますので、皆様のご協力を宜しくお願ひいたします。

3. 目標 100万名

各会員には1会員10～20名以上を集めていただきたくご案内をお願いいたします。

なお、各都道府県技師会役員の皆様には、各自40名以上のご協力をお願ひいたします。

4. 署名方法

- 1) 同封の100枚の署名用紙をご利用いただき、必要に応じてコピーしてください。
- 2) 都道府県技師会で署名用紙を回収していただき、添付の用紙に合計人数を記入のうえ、署名用紙と合わせて、日臨技宛てに着払いで送付してください。

5. 注意事項

- 1) 1枚の署名用紙は10名の記入があるかを必ずご確認ください。空欄は無効となります。
- 2) 署名の自宅住所には、<同上>、<々、〃>は無効となりますので注意して下さい。

◆ 日臨技事務局への送付期日：9月15日必着

◆ 業務手数料：1万円

